

初冬の農作業が始まった



◀専用のアタッチメントでトラクターが麦の植え付け(写真下)

稲作が終わっておよそ1か月、次の農作業が始まりました。麦作の準備です。

まず圃場の排水効果を高めるために一定間隔で地下に溝を掘っていきまし

ます。トラクターの後部に槍型のハンマー状のものが振動しながら進んでいきます。

それが終わると、鉋物やたい肥等で土壌の栄養補給が行われました。それが終わり土壌になじんだ頃を見計らって、麦作の開始です。

麦作は、専用の植え付け機の独壇場です。耕耘、稲立て、植え付け、施肥、土かぶせ、転圧まで一気に作業します。

植え付け用の麦は、何層にもコーティングされていました。土壌の中でいろいろな害虫などからの攻撃を防ぐために、高度な処理のされたものが使用されていました。

昨年度は前年の作柄が非常によく、全国表彰の栄に浴しました。今年はどうでしょうか。



前期分の活動日当をお支払いたします
令和5年4月から9月までの活動の集計ができました。それに従い参加者の皆様に日当をお支払いたします。総額は207,000円でした。

第15回農村未来を考える研修会

11月10日、恒例の研修会が開催されました。

今回は、より広域的に活動を展開している団体の紹介がありました。広範囲での活動を基にして、各地地区単位の「運営委員会」が実際の活動を推進するという方式です。

この方式については、従前より推進すべしと何度も聞かされてきました。例えば岩屋地区や名田島地区との広域化について考える必要があるのでしょうか。既

に広域化が進んでいないということでも交付金も減額されています。

しかし、八方原の自主性も大切にしたいと考えています。

いずれにせよ、これからことあるごとに広域化の話が登場してまいります。良い点もあると思いますが、そうでもない部分もあるように思えます。

第3次の計画の最終年度が迫っています。しっかりと考えてまいります。

自治会の振興策を話し合い

11月18日、自治会の振興会議をつ開催しました。この会議は自治会内の団体責任者をお招きして意見をいただく会議です。



水路の土砂はそのままになっている自治会長から経緯が説明されましたが、水路の水位が高いところは作業ができませんので、水位が下がるのを待っていただくところ、今度は工事業者が多忙で請け負えないという状況

した。

になってしまったということです。委員からは作業が遅い、対策はまだかと厳しい意見が出ましたが、自治会で対応できるものではないので、これらの意見をまとめて市の担当課に要望を提出することとなりました。

主な意見として、「九田川の排水を上流側に新設すること。榎野川本流の浚渫作業を急ぐこと。東側斜面の土砂崩落を軽減させる対策を取ること。」が上げられました。

またの水系については農業水利としては機能していないことも考える必要があるという指摘もありました。これらを要望書にまとめて提出することとなります。

新年互例会は見送り

令和6年の新年互例会は開催しないこととなりました。振興会議で意見を聞いたところ、無理な開催はすべきではないと意見が大半でした。

農道除草作業のお知らせ

例年通り12月より、農道の除草清掃作業を実施します。日当支払対象事業ですので、ぜひご参加ください。

予定

- 12月17日 西側外周路
- 1月14日 大森・中央南北道
- 1月21日 西ノ池・金原農道

詳細は回覧にて連絡します

市道除草清掃の共同作業を実施



3班には新しいメンバーが参加



11月5日、市道の清掃作業を行いました。この作業は市からの受託事業ですが、自分たちの使用する道路を管理する大切な作業です。

今回は44人が参加、瞬く間にきれいになりました。距離も長いので、みんなの力がなくてきません。

「福祉まつり」に役立ち情報



人力車のような長い取っ手がつく車椅子

11月3日、小郡地域交流センターを中心に「小郡福祉まつり」が行われました。

福祉関係の団体がさまざまな活動の紹介を行ったり、ステージで歌や踊りも披露されたりにぎやかでした。一角に、福祉機器や防災器具の展示を行っている場所がありました。地元事業所「岩多屋」さんです。

避難所での簡易トイレ、非常食などがあるものは、車椅子に長い牽引用の取っ手がついています。車椅子だと、小さな段差でも動けなくなるので、この取っ手で引く張って避難しようというものです。